

製品名	ウルトラSi
種別	ウルトラナノポリマーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg、10kg、5kg
用途	内外部壁面
適用基材	一般外壁、コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、吹付けタイル、スタッコ、リシンなど

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
上塗り	ウルトラSi	15kg	0.12~0.15kg (100~125m ²)	ウルトラローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	2~8%					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 施工環境が気温5°C以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5°C以下の場合は塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。下地モルタルは十分に乾燥させてください。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上の乾燥が必要です。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラSi 屋根用耐候性強化色
種別	ウルトラナノポリマーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg
用途	一般屋根
適用基材	金属系屋根、窯業系屋根、アスファルトシングル、陶器瓦など

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
上塗り	ウルトラSi (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m ²)	ウルトラローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	0~10%					

注意事項

- 各種屋根材への適用下塗り材はお問い合わせください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラSi 屋根用遮熱色
種別	ウルトラナノポリマーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg缶
用途	一般屋根
適用基材	コロニアル、カラーベスト、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、フッ素鋼板、ガルバニウム鋼板、塩ビ鋼板、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、ステンレスなど

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積 / 缶 / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	無機有機ハイブリッドEPO(ホワイト)						
上塗り	ウルトラSi (屋根用遮熱色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m ²)	ウルトラローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	0~10%					

注意事項

- 下塗りについては無機有機ハイブリッドEPOの標準施工仕様書をご確認ください。
- アスファルトシングルに塗装する場合は下塗りに無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]をご使用ください。
- 乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力の低下及び遮熱効果が十分に発揮できない恐れがあります。
- ウルトラSiは必ず2回塗りで仕上げてください。
- コロニアル、カラーベスト等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- 無機有機ハイブリッドEPOは弱溶剤形のため取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を遵守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた衣類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラTOP
種別	ウルトラUVプロテクト上塗り材保護用コート
荷姿	10kg, 5kg
用途	外部壁面、屋根
適用基材	各種上塗り材(新生塗膜)

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地となる上塗り材に付着しているゴミ・ホコリ・異物は取り除いてください。 ②下地となる上塗り材の間隔時間を考慮し、日数をあけずに施工してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
保護コート	ウルトラTOP	10kg	0.08~0.10kg (100~125m ²)	刷毛 中毛ローラー エアレス	1	— ※最終養生24h	—
	無希釈	—					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 下地となる上塗り材の施工から日数が経過し完全硬化していると思われる場合はテスト施工を実施してください。
- ウルトラTOPは水性ですので造膜硬化中に降雨にあたり膨潤します。降雨が予想される場合は施工を避けてください。
- ウルトラTOPは溝の深いサイディングや粗面等に塗料が溜まると白く白濁して硬化します。塗料だまりのないよう均一に施工してください。
- ウルトラTOPは基材への直接塗布は避けてください。
- 艶調製品は艶ムラにならないよう特に足場つなぎ部分などの塗り継ぎに注意し、面で切って施工してください。
- ウルトラTOPは透明ですが上塗り材塗膜の色調や仕上がりが変わって見える場合があります。試験施工等であらかじめご確認ください。
- 施工環境が気温5°C以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因になる事があります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラMUKI
種別	無機有機ウルトラハイブリッド塗料
荷姿	15kg、10kg、5kg
用途	内外部壁面
適用基材	一般外壁、コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、吹付けタイル、スタッコ、リシンなど

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
中塗り	セラベース [水性タイプ]	15kg	0.12~0.16kg (93~125m ²)	ウルトラローラー	1	4時間以上	—
	清水	0~5%					
上塗り	ウルトラMUKI	15kg	0.12~0.15kg (100~125m ²)	ウルトラローラー	1	(2時間以上) ※最終養生24h	—
	清水	2~8%					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 中塗りにセラベースを使用せず、ウルトラMUKIの2回塗りでも問題ありません。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。下地モルタルは十分に乾燥させてください。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上の乾燥が必要です。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラMUKI 屋根用耐候性強化色
種別	無機有機ウルトラハイブリッド塗料
荷姿	15kg
用途	一般屋根
適用基材	金属系屋根、窯業系屋根、アスファルトシングル、陶器瓦など

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
中塗り	セラベース[水性タイプ] (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.12~0.16kg (93~125m ²)	ウルトラローラー	1	4時間以上	—
	清水	0~5%					
上塗り	ウルトラMUKI (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m ²)	ウルトラローラー	1	(2時間以上) ※最終養生24h	—
	清水	0~10%					

注意事項

- 各種屋根材への適用下塗り材はお問い合わせください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 中塗りにセラベースを使用せず、ウルトラMUKIの2回塗りでも問題ありません。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合には塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラMUKI 屋根用遮熱色
種別	無機有機ウルトラハイブリッド塗料
荷姿	15kg缶
用途	一般屋根
適用基材	コロナル、カラーベスト、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、フッ素鋼板、ガルバニウム鋼板、塩ビ鋼板、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、ステンレスなど

工程	材料	割合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積 / 缶 / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	無機有機ハイブリッドEPO(ホワイト)						
上塗り	ウルトラMUKI (屋根用遮熱色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m ²)	ウルトラローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	0~10%					

注意事項

- 下塗りについては無機有機ハイブリッドEPO標準施工仕様書をご確認ください。
- アスファルトシングルに塗装する場合は下塗りに無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]をご使用ください。
- 乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力の低下及び遮熱効果が十分に発揮できない恐れがあります。
- ウルトラMUKIは必ず2回塗りで仕上げてください。
- コロナル、カラーベスト等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の割合を守り十分に攪拌してください。割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた衣類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラクリアー(標準仕様)
種別	ウルトラクリアーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg、5kg
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング

工程	材料	調合	所要量/m ² /回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使用時間 (23°C)
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。						
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
上塗り	ウルトラクリアー (艶あり/3分艶)	15kg	0.1～0.12kg (125～150㎡)	ウルトラローラー	2	4時間以上	—
	清 水	0～4%					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 水性塗料ですので、降雨や夜露が予測される場合は施工を避けてください。
- 無機系サイディングや光触媒サイディングには下塗り材にクリアベースハイパーをご使用ください。
- 艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面を通して施工してください。
- 下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工できません。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- シーリング面に塗装する場合は、変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラクリアー(難付着サイディング仕様)
種別	ウルトラクリアーシリコン樹脂塗料
荷姿	15kg、5kg
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング、焼付金属サイディング、陶磁器質(釉薬)タイル

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)	
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。							
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。							
下塗り	クリアベースハイパー [油性タイプ]	主剤	14.0kg	0.12～0.14kg (128～150m ²)	ウルトラローラー	1	4時間以上 7日以内	4時間以内
		硬化剤	4.0kg					
	PXシンナー		0～3%					
上塗り	ウルトラクリアー (艶あり/3分艶)		15.0kg	0.10～0.12kg (125～150m ²)	ウルトラローラー	1	—	—
		清水	0～4%					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガには施工を避けてください。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]は陶磁器質タイル面での漏水やエフロを抑制するものではありません。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]を上塗り材として使用することは避けてください。
- 上塗り材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面を通して施工してください。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]は、2液反応硬化形ですので、主剤と硬化剤の調合を守り混合し、十分に攪拌してください。
- クリアベースハイパー[油性タイプ]混合後の可使時間を厳守し、可使時間以内に使用できないと予想される場合、必要に応じて小分けしてご使用ください。
- 下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工できません。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- シーリング面に塗装する場合は、変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。
- 弱溶剤形製品は取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラフッ素
種別	ウルトララジカルコントロールフッ素樹脂塗料
荷姿	15kg、10kg、5kg
用途	内外部壁面
適用基材	一般外壁、コンクリート、モルタル、窯業系サイディングボード、吹付タイル、スタッコ、リシンなど

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
中塗り	セラベース[水性タイプ]	15kg	0.12~0.16kg (93~125m ²)	ウルトラローラー	1	4時間以上	—
	清水	0~5%					
上塗り	ウルトラフッ素	15kg	0.12~0.15kg (100~125m ²)	ウルトラローラー	1	(2時間以上) ※最終養生24h	—
	清水	2~5%					

注意事項

- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 中塗りにセラベースを使用せず、ウルトラフッ素の2回塗りでも問題ありません。
- 施工環境が気温5°C以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5°C以下の場合には塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。下地モルタルは十分に乾燥させてください。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上の乾燥が必要です。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラフッ素 屋根用耐候性強化色
種別	ウルトララジカルコントロールフッ素樹脂塗料
荷姿	15kg
用途	一般屋根
適用基材	金属系屋根、窯業系屋根、アスファルトシングル、陶器瓦など

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
中塗り	セラベース[水性タイプ] (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.12~0.16kg (93~125m ²)	ウルトラローラー	1	4時間以上	—
	清水	0~5%					
上塗り	ウルトラフッ素 (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m ²)	ウルトラローラー	1	(2時間以上) ※最終養生24h	—
	清水	0~5%					

注意事項

- 各種屋根材への適用下塗り材はお問い合わせください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 中塗りにセラベースを使用せず、ウルトラフッ素の2回塗りでも問題ありません。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラフッ素 屋根用遮熱色
種別	ウルトララジカルコントロールフッ素樹脂塗料
荷姿	15kg缶
用途	一般屋根
適用基材	コロニアル、カラーベスト、波形スレート、セメント瓦、乾式洋瓦、釉薬瓦、カラー鋼板、フッ素鋼板、ガルバニウム鋼板、塩ビ鋼板、亜鉛メッキ鋼板、アルミニウム、ステンレスなど

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積 / 缶 / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	無機有機ハイブリッドEPO(ホワイト)						
上塗り	ウルトラフッ素 (屋根用遮熱色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m ²)	ウルトラローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	0~5%					

注意事項

- 下塗りについては無機有機ハイブリッドEPOの標準施工仕様書をご確認ください。
- アスファルトシングルに塗装する場合は下塗りに無機有機ハイブリッドEPO[水性タイプ]をご使用ください。
- 乾式洋瓦はデッキブラシ等を併用しながら高圧洗浄し、着色スラリー層が除去できていることを確認したうえで無機有機ハイブリッドEPOを2回塗りしてください。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、点錆の発生、耐久力の低下、色相の違い、隠ぺい力の低下及び遮熱効果が十分に発揮できない恐れがあります。
- ウルトラフッ素は必ず2回塗りで仕上げてください。
- コロニアル、カラーベスト等の重なり部分に塗料が付着し詰まっている箇所は皮すき・カッター等で除去してください。漏水の原因になります。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた衣類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を遵守し、産業廃棄物として処分してください。(排水溝・河川・下水・土壌等を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。

製品名	ウルトラGゼロコート
種別	ウルトラシリカ複合艶消し無機塗料
荷姿	15kg、10kg、5kg
用途	外壁
適用基材	一般外壁、モルタル、窯業系サイディング、無機系・光触媒サイディング、金属系サイディング、吹付けタイル、スタッコ、リシン、コンクリートなど

工程	材料	調合	所要量 / m ² / 回 (塗布面積 / 缶 / 回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗材をご使用ください。						
上塗り	ウルトラGゼロコート	15kg	0.12~0.15kg (100~125㎡)	ウルトラローラー	2	2時間以上 ※最終養生24h	—
	清水	2~8%					

注意事項

- 中塗りにセラベースシリーズはご使用になれません。
- ウルトラGゼロコートの上にウルトラTOP等の保護コーティング材は施工しないで下さい。塗膜性能の発揮を阻害する恐れがあります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がり不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置してください。下地モルタルは十分に乾燥させてください。モルタルの乾燥時間は夏期で1週間、冬期で2週間必要です。コンクリート下地は夏期で2週間、冬期で3週間以上の乾燥が必要です。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様になり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や塗膜の乾燥状態を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防毒マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。